



平成 31 年 3 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社秀英予備校
 代表者名 代表取締役社長 渡辺 武
 (コード：4678、東証第1部)
 問合せ先 取締役経理部長 田中 耕治
 (TEL. 054-252-1792)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 3 月 22 日開催の取締役会において、平成 30 年 5 月 10 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親 会 社 株 主 に 帰 属 する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	11,425	260	225	160	23.84
今 回 修 正 予 想 (B)	11,240	45	11	△103	△15.48
増 減 額 (B - A)	△184	△214	△213	△263	
増 減 率 (%)	△1.6	△82.7	△94.9	—	
(ご参考) 前期連結実績 (平成 30 年 3 月期)	11,010	119	46	41	6.13

2. 修正の理由

当期の連結業績につき、売上高におきましては、iD（映像授業）・PAS（個別指導）併設校舎を積極的に展開し個別指導部門の生徒数が増加しましたが、集団型部門において生徒数が予算を下回りました。

また、営業費用におきましては、人員の効率化、賃借料・校舎維持管理費用等の経費の削減を図りましたが、iD（映像授業）への業態変更に伴う費用17百万円、学童保育3校舎の開業費用13百万円等の発生により経費が増加しました。

特別損益におきましては、第3四半期までに当初計画に対し9月入学が不振であった4校舎、移転を決定した3校舎および閉鎖を決定した2校舎につき減損損失44百万円を計上しました。

この結果、平成 31 年 3 月期連結業績予想について、売上高は 184 百万円の減少、営業利益は 214 百万円の減少、経常利益は 213 百万円の減少、親会社株主に帰属する当期純利益は 263 百万円の減少となりました。

(業績予想に関する注意事項)

上記の予想は本資料の発生日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上